

《認知症医療・介護連携研修セミナー》

「BPSDの理解と向精神薬のガイドライン」

厚生労働省は、昨年、認知症による行動心理症状に対する向精神薬を使用する薬物療法のあり方について、「かかりつけ医のための～BPSDに対応する向精神薬使用ガイドライン」を作成し発表しました。

認知症介護の現場においても、またご家族・関係者にとっても、薬とBPSDの関係は大切な問題のひとつであります。特に、向精神薬とBPSDについては、日々状態を把握している家族や介護関係者と、医療との連携強化は不可欠な課題でもあります。

認知症の方が462万人にのぼるとされる今日、オレンジプランや地域包括ケアシステムのなかで強調される「医療と介護の連携」は、一層の具体化と実践が期待されています。

このため、公益社団法人日本認知症グループホーム協会は、臨床経験も豊富で介護現場にも大変詳しい山口晴保先生をお招きして、どなたにも参加頂けるセミナーを開催する事と致しました。

今回のセミナーは、介護職だけではなく医師、看護師、薬剤師、リハビリテーションスタッフ等、幅広い職種の方、学生や御家族にも参加して頂けるよう計画しました。

お誘い合わせの上、ぜひとも御参加下さい。

会場の都合により、先着順に200名様で締め切りとさせていただきます。

講師 山口晴保群馬大学大学院教授

現職：同大学大学院保健学研究科リハビリテーション学講座・教授
認知症専門医、リハビリテーション専門医

日本認知症学会副理事長 日本老年精神医学会評議員 日本
認知症ケア学会評議員、群馬県地域リハ協議会委員長

略歴 1976年群馬大医学部卒業。同大学院で神経病理学を学び、
1980年に卒業（医学博士）。同年神経内科に入局し、アル
ツハイマー病の病理研究を開始した。1986年に群馬大医療
短大助教授、1993年に同教授。1996年に改組で群馬大学
医学部保健学科教授。2011年改組で現職。

出演：NHK「ためしてガッテン」「ご近所の底力」「クローズアップ現代」、NHK教育
「ここが聞きたい！名医にQ」「福祉ネットワーク」、テレビ朝日「たけしの家庭
の医学」に出演

著書：「認知症の正しい理解と包括的医療・ケアのポイント～快一徹！脳活性化リハビリ
テーションで進行を防ごう～」第二版、協同医書出版

「認知症予防～読めば納得！脳を守るライフスタイルの秘訣」協同医書出版
等々



日時 3月1日(土)午後1時30分から
場所 豊島区民センター「文化ホール」
会費 認知症GH協会会員事業所 3,000円
(大学、専門学校等の学生の方も適用)
非会員 5,000円(職種不問)

◎問合せ・申込みは、東京都支部事務局まで 電話 03-5911-1264
fax 03-5911-1268 Email: jimukyoku2@izumiwaku-ie.jp



FAX: 03-5911-1268
日本認知症グループホーム協会
東京都支部 事務局 宛

認知症医療介護連携セミナー

「BPSDの理解と向精神薬のガイドライン」

平成26年3月1日(土)午後1時半から3時半(予定)

・お申込者氏名 _____ (職) _____ (会員・非会員・学生)
_____ (職) _____ (会員・非会員・学生)
_____ (職) _____ (会員・非会員・学生)

・法人名、事業所名 _____

・同上・ご住所 _____

・ご連絡先(電話) _____ (FAX) _____

・E-mail(できるだけご記入ください) _____

◎申込みを受け付けましたら、会費納入の御連絡を差し上げます。
会費の納入がありましたら、参加証をFAX、メールにてお届けします。



会場 〒170-0013 豊島区東池袋 1-20-10 03-3984-7601